活彩あおもり

平成30年度
要　覧

たねさし



遊ぶ

創る







挑戦

青森県立種差少年自然の家
指定管理者　三八五グリーンネット

種差少年自然の家
マスコットキャラクター
「たね坊」



絵画　石橋　暢之 氏



種差少年自然の家とは

青森県立種差少年自然の家は、少年を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身ともに健全な少年の育成を図ることを目的として、青森県が昭和50年に設置し運営している社会教育施設です。

種差少年自然の家は、八戸市内から約12㎞南下した、三陸復興国立公園に含まれる名勝「種差海岸」に隣接しています。標高90ｍの小高い丘の上に建っている施設からは、雄大な太平洋が眼下に広がり、イカ釣りの季節には漁り火と満天の星空を楽しむことができます。近くの海岸には、岩礁や砂浜が広がり、磯の生物観察や魚釣り、手づくりいかだ遊びなどを体験することができます。また、周辺の野山には、山野草や秋には北限のハマギクが咲き、ニホンカモシカ、キツネ、タヌキ等の動物も生息する豊かな自然に恵まれており、四季の自然観察やハイキング等の野外活動にも最適です。



運営の方針

少年たちが、豊かな自然の中でのびのびと体験活動をすることにより、自然と人間とのかかわりを理解しながら、生きる力を養うことをめざす。

(1)　豊かな自然体験や生活体験を通して、自然への関心を高め、生命尊重と畏敬の念をもたせるように努める。
(2)　集団宿泊を通して、意欲的･自主的に体験できる活動を行い、互いによりよい人間関係を深めながら、たくましい実践力と創造力を培えるように努める。
(3)　多様な活動に対応できるよう、環境整備と安全確保等の危機管理意識を高めるとともに、子どもの興味・関心のある学習機会の提供に努める。
(4)　利用効果の向上と利用者数の増加を得られるよう、学校・家庭・地域・各団体との連携に努める。

種差少年自然の家のマーク

全体の形は、少年の「少」の一字を形どったものです。左右に広がる山野，眼下に見る太平洋と波、豊かな自然に囲まれた環境の中で、友情（だ円）を培い、たくましく伸びる（直線）少年の姿を象徴しています。

ぐんじょう（群青）は、海の青さを示したものです。

（図案製作者　八戸市　平川則昭氏）

施 設 概 要



所 在 地：　青森県八戸市大字鮫町字膳並平２の26
敷地面積：　65,977㎡
建物面積：　 3,488㎡
宿泊定員：　館内200人（キャンプ場125人）

(1)　屋内施設

棟　名	1　　階	2　　階
研　修　棟	統括室・会議室・医務室・事務室 食堂・厨房・玄関ホール	大ホール・小ホール 自然観察室・自然観察準備室 視聴覚準備室
宿　泊　棟	宿　泊　室　11室（8人用） 2室（3人用）（車椅子使用者対応） リーダー室　1室（5人用） 宿直室・ボイラー室・シーツ室 トイレ（男女）（車椅子使用者対応） 浴室（男女）・物置	宿　泊　室　13室（8人用） リーダー室　1室（5人用） シーツ室・トイレ（男女）
プレーホール		

(2)　屋外施設

キャンプ場	キャンプセンター・炊事場かまど数24・常設テント13張（5月～10月） 貸出テント17（4人×17）張・第1営火場・運動広場・トイレ（男女）
そ　の　他	つどいの広場・あそびの広場・なかよし広場・自然観察林・第２営火場

利 用 案 内



(1)　利用できる団体

指導者の引率のもとに生活体験、自然体験、創作活動、学校教育活動等で利用する次に掲げる団体とする。

① 各種学校（幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等）
② 少年団体（子ども会、児童館、ＰＴＡ、ボーイスカウト、ガールスカウト、仲良しクラブ等）
③ 統括が認めた団体（以下の条件を満たすこと）
・少年自然の家の設置目的にあった活動をする団体
・集団宿泊訓練、自然体験活動、生活指導等に係る指導者の養成や研修をする団体
・生涯学習の観点にたった活動をする団体

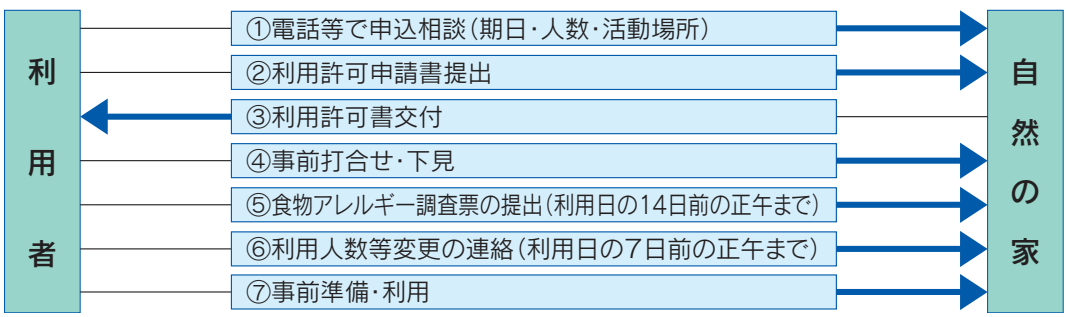
(2)　経　費

食費	朝食	昼食	夕食	計	洗濯代	館内泊（シーツ・枕カバー）	テント泊（シュラフ用シーツ）
	370円	390円	400円	1,160円		159円	144円

※宿泊料・館内使用料は無料　　※教材費・借上げ料は実費

(3)　休所日…年末・年始（12月29日～１月４日）

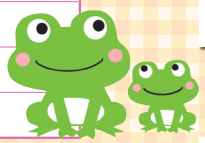
(4)　手続き



活動プログラム

◇自然観察活動

1	磯の生物観察（磯ビンゴ）
2	星空のつどい
3	種差の植物観察
4	森探検





5．磯遊び（かにつり）



17．ネイチャーゲーム(いねむりおじさん)



6．タイヤチューブいかだ



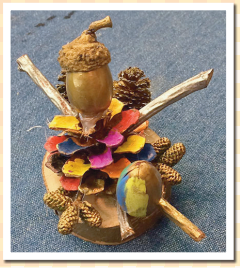
4．森探検 (冬の森)



24．スノーチューブすべり



10．「種差海岸」ハイキング





◇野外活動

5	磯遊び（かにつり）	15	火おこし
6	タイヤチューブいかだ	16	アドベンチャーゲーム
7	スチロバールいかだ	17	ネイチャーゲーム
8	サンドクラフト	18	グラウンドゴルフ
9	追跡ハイク	19	フリスビーゴルフ
10	「種差海岸」ハイキング	20	キャンピング
11	わくわくウォークラリー	21	野外炊事 (屋内炊事)
12	ビンゴオリエンテーリング	22	焼きいも
13	ナイトハイク	23	フライパンピザ
14	ボンファイヤー	24	スノーチューブすべり

◇創作活動

25	葉っぱのしおり
26	焼板クラフト
27	竹けん玉
28	竹とんぼ
29	ぐにゃぐにゃ凧
30	シュリンクシートのストラップ
31	ネイチャーストラップ
32	割りばし鉄砲
33	どんぐりアート
34	種差アロマアート
35	貝がらアート
36	動物マグネット
37	ペットボトルちょうちん

◇伝承文化活動

38	せんべい焼き（屋外・屋内）
39	こまの絵付け
40	昔遊び

◇館内活動

41	キャンドルファイヤー
42	館内オリエンテーリング
43	館内デジカメ探偵団
44	たねさしチャレンジ
45	キンボールスポーツ
46	室内ペタンク（ディスコン）
47	ラダーゲッター



16．アドベンチャーゲーム（ウォール）



33．どんぐりアート（親子で創作）



常設テント（５月～１０月）



21．野外炊事





生活の様子



布団たたみ



清　掃



セルフサービス方式の食事



玄関ホール（自由時間遊び）



お風呂



宿泊室で

出前講座の様子

（活動例）

せんべい焼き（屋外・屋内）
どんぐりアート
竹けん玉・竹とんぼ
スノーチューブすべり
葉っぱのしおり
動物マグネット
こまの絵付け
フライパンピザ
焼板クラフト
ぐにゃぐにゃ凧





せんべい焼き



こまの絵付け



ぐにゃぐにゃ凧



動物マグネット



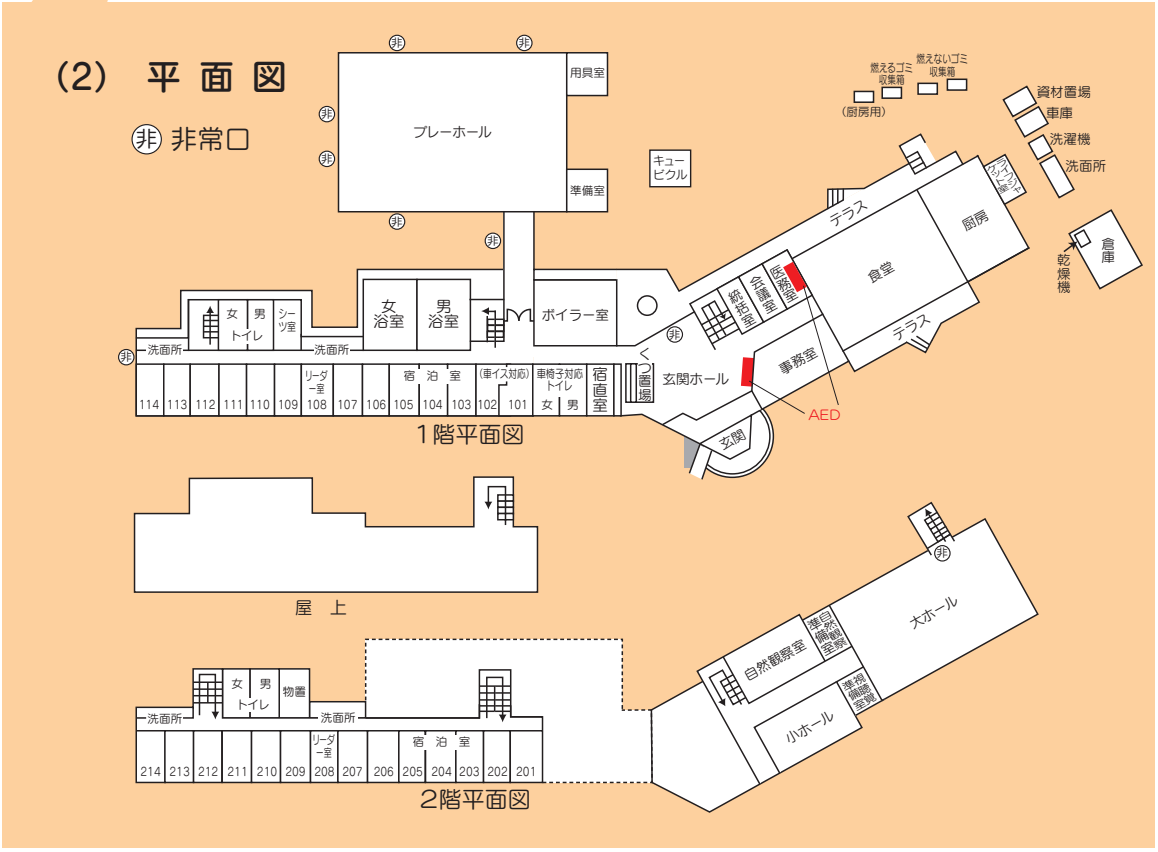
フライパンピザ

施設案内図

(1) 見取図



(2) 平面図



主催事業

平成30年度　主催事業計画一覧

	事業名	期日	募集人員	対象	活動内容
	在学少年宿泊指導者研修	４月23日(月) ～24日(火)	100人	小・中学校の引率教員	・利用の仕方 ・活動日程の立て方 ・活動プログラムの実習
子どもの祭典	おいでよ！サマーキャンプ	８月７日(火) ～10日(金)	30人	小５年～中３年	・テントでの宿泊体験　・野外炊事 ・ナイトハイク　・海での活動など
子どもの祭典	わくわくどきどき ウィンターキャンプ	12月25日(火) ～27日(木)	20人	小５年～中３年	・テントでの宿泊体験　・野外炊事 ・冬の自然体験　・森探検など
自然と遊ぼう	たねさしワールド 「春を感じて」	５月13日(日)	100人	小・中学生とその保護者	・春の自然を楽しもう （潮風トレイル）
自然と遊ぼう	たねさしワールド 「エンジョイ！海遊び」 ※２回開催	①７月１日(日) ②７月８日(日)	各100人		・海で思いっきり遊ぼう （いかだ、カヌー、磯遊び、サンドクラフトなど）
自然と遊ぼう	たねさしワールド 「秋を感じて」	10月14日(日)	100人		・秋の自然を楽しもう （自然に親しむゲームなど）
自然と遊ぼう	たねさしワールド 「つくって新発見」	12月２日(日)	100人		・正月飾りを作ろう （ミニ門松づくりなど）
自然と遊ぼう	たねさしワールド 「エンジョイ！雪遊び」 ※２回開催	①１月26日(土) ②１月27日(日)	各100人	幼４歳以上の子どもとその保護者	・冬の自然を楽しもう （スノーチューブすべりなど）
自然と遊ぼう	たねさしワールド 「こども大作戦」①	２月９日(土) ～10日(日)	40人	小３年～４年	・子どもだけでとまってみよう （創作活動、自然体験活動など）
自然と遊ぼう	たねさしワールド 「こども大作戦」②	２月16日(土) ～17日(日)	40人	小１年～２年	
親子で学ぶ防災キャンプ	「親子の絆」防災キャンプ	９月22日(土) ～23日(日)	13組40人	小・中学生とその保護者	・親子キャンプで防災力を身につけよう

自然体験活動支援事業	**自然体験活動研修会** 【青少年教育指導者の資質向上を図る研修会】	６月２日(土) ～３日(日)	30人程度	幼保・小・中学校教員 社会教育団体関係者他	・自然体験活動についての実習 ・活動プログラムの実習・体験 ・野外炊事 ・いかだの救助訓練など
自然体験活動支援事業	**自然体験活動出前講座** 【自然の家職員が現地に出向いて支援する講座】	４月･５月 及び 10月～３月	１団体 10名以下 可	三八・上北管内の小・中学校、青少年団体等	・種差少年自然の家 「活動プログラム」から ※上記以外でも相談に応じます。
自主事業	**親子の体験活動**	10月・11月	30人程度	幼保・小学生とその家族	・仲間づくりゲーム ・創作活動 ・野外活動等
自主事業	**大人の体験活動**	10月・３月	30人程度	成人	・野外散策（ノルディックウォーク） ・創作活動（けりごま作り）


エンジョイ！海遊び


サマーキャンプ

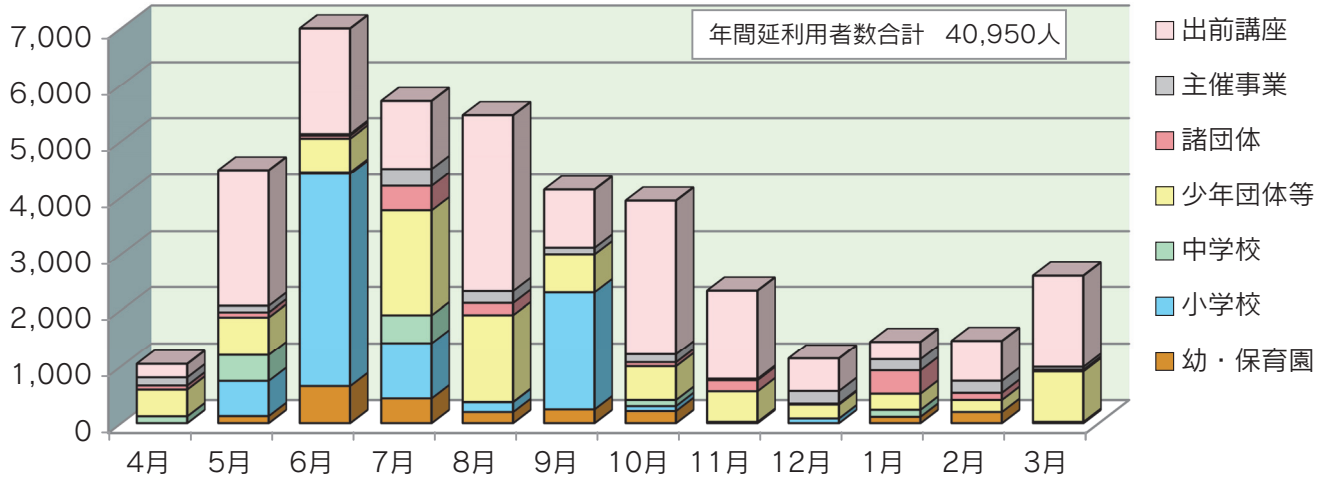

秋を感じて


エンジョイ！雪遊び

利 用 状 況

1．月別延利用状況

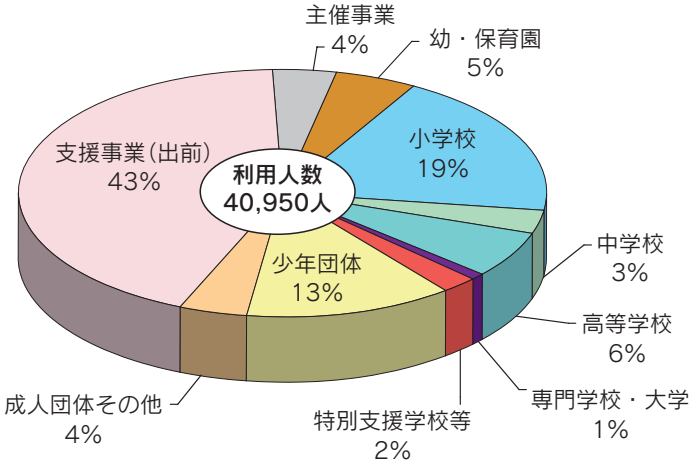
① 月別延利用者数



② 月別利用団体数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
24	59	63	55	40	41	50	44	22	32	27	53	510

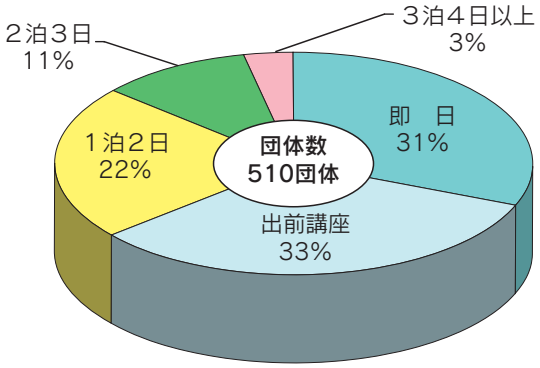
2．平成29年度対象別利用状況



3．宿泊日数利用状況

宿泊日数	団体数	割　合
即　　日	159	31.2%
出 前 講 座	168	32.9%
1 泊 2 日	114	22.4%
2 泊 3 日	53	10.4%
3 泊 4 日 以 上	16	3.1%
合　　計	510	100.0%

日数別利用状況

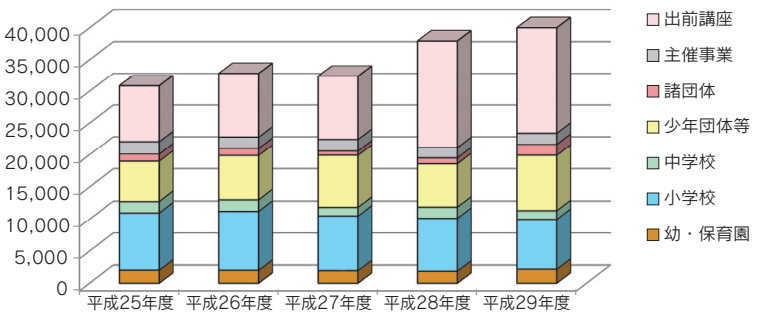


4．年度別利用状況

（単位：人）

区　分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
幼稚園･保育園	2,016	2,005	1,943	1,864	2,170
小 学 校	8,952	9,215	8,545	8,270	7,806
中 学 校	1,797	1,803	1,369	1,756	1,350
少年団体等	6,224	6,861	8,052	6,704	8,574
諸 団 体	1,120	1,116	674	903	1,721
主催事業	1,952	1,778	1,837	1,628	1,771
出前講座	8,797	10,049	9,970	16,806	17,558
合　計	30,858	32,827	32,390	37,931	40,950

年度別利用状況（H25～H29）



あ　ゆ　み

●昭和

49年
9月　県立第二少年自然の家を八戸市に建設することを決定

50年
4月1日　県立第二少年自然の家開設に伴い教育庁内に準備室設置
10月25日　名称を青森県立種差少年自然の家と定める
11月21日　所章制定
12月1日　青森県立種差少年自然の家設置
初代所長　田中昌三ほか10名の職員発令

51年
1月7日　開所式挙行
2月27日　国旗掲揚塔・車庫・焼却炉完成
5月19日　第1回在学少年宿泊指導者研修（～20日）
8月4日　キャンプセンター・トイレ・倉庫・擁壁工事完成。宿泊棟前芝張り終了
8月21日　キャンプ場営火場完成
9月14日　青森県立種差少年自然の家落成式
11月27日　第1回少年団体成人指導者研修（～28日）

52年
1月21日　常陸宮・同妃殿下御成り
9月28日　集いの広場・小公園・駐車場完成

53年
5月11日　第5回東北・北海道地区少年自然の家運営研究会当所において開催（～12日）
9月23日　第1回夏の親子の集い「故郷の海を探ろう」実施（～24日）
12月1日　スケートリンク・第二営火場水飲場・屋外手洗い場完成

54年
1月13日　第1回冬の親子の集い「星の観察とスケートの集い」実施
6月30日　進入道路舗装工事完成。国旗掲揚ポール新設
7月5日　外灯設備工事完成

62年
7月　研修生50万人達成
8月26日　東北・北海道地区所長会議当所において開催（～27日）

●平成

元年
8月17日　第1回少年キャンプの集い「自然の中で友と語ろう」実施（～19日）

2年
8月17日　第1回子供の祭典「夢と冒険と感動を」実施（～20日）

3年
7月　キャンプ場洗面所増設・外灯2基設置

4年
9月12日　学校週5日制対応事業「シリーズ故郷の自然と文化にふれる集い」実施

6年
1月　暖房配管改修その他設備工事完成
12月28日　「三陸はるか沖地震」発生（震度6　烈震）玄関ホール下足置場側上部コンクリート落下

7年
12月2日　「開所20周年を祝う会」開催

8年
1月　宿泊棟・研修棟屋上改修工事完成
4月25日　第23回東北・北海道地区少年自然の家運営研究会当所において開催（～26日）
10月1日　キャンプ場釜場建屋完成

9年
4月　食事のミニバイキング方式開始
12月23日　青少年野外教育推進事業「ふれあいキャンプinたねさし」実施（～26日）

10年
5月・8月・10月　「ファミリーキャンプ村たねさし」開設

●平成

12年
7月　第15回日本海洋少年団東北大会の会場となる

14年
2月・3月　浴室タイル改修工事・体育館屋根の塗装工事完成

15年
3月　宿泊棟窓枠・外壁等改修工事完成

16年
3月　管理棟窓枠・外壁等改修工事完成

17年
3月　管理棟・宿泊棟内部（車椅子使用者対応室・トイレ及び厨房ドライシステム化を含む）改修工事完成
6月22日　研修生延べ利用者数100万人入所達成
12月3日　「開所30周年を祝う会」開催

18年
3月　プレーホール改修工事完成・受変電設備改修工事完成
活動資材置場完成
大研修室天井裏アスベスト除去工事完成

19年
3月　給水管等改修工事完成
12月　キャンプ場トイレ簡易水洗化改修工事完成

20年
7月24日　「岩手県沿岸北部地震」発生（震度6弱）破損箇所（大ホール天井、食堂床、玄関ホール靴箱上部の壁他）

21年
9月　研修生110万人入所達成

22年
2月　給湯用ボイラー改修工事完成
7月1日　施設のマスコットキャラクター「たね坊」が誕生
12月　暖房用ボイラー改修工事完成

23年
3月11日　東日本大震災」発生（震度5）、破損箇所（大ホール天井、食堂床他。津波により種差漁港スーパーハウス流失）

24年
2月　暖房用ボイラー配管全館改修工事完成
6月12日　スーパーハウス設置完了（いかだ活動用具入れ小屋）
12月25日　玄関スロープ新設工事完成

25年
2月20日　プレーホール蒸気ドレン管改修工事完成

26年
9月　研修生120万人入所達成
12月　高圧気中開閉器等改修工事、国旗掲揚ポール改修工事、地下貯蔵タンク改修工事完成

27年
3月　非常誘導灯改修工事、厨房給湯器改修工事、ポーチ階段等改修工事完成
7月　第2駐車場通路舗装工事、外部基礎外断熱等改修工事完成
12月12日　開所40周年を祝う会を実施
12月　玄関ホール天井塗装等改修工給水・給湯管改修工事、ＬＥＤ照明器具交換等工事完成

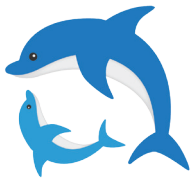
28年
1月　ボイラー煙突改修（アスベスト除去）工事完成
4月1日　三八五グリーンネットが指定管理者となる

29年
4月　管末ドレン管取換修繕
11月9～10日　青森県青少年教育施設運営協議会

30年
3月　プレーホール暖房用ファン交換

職員組織

青森県立種差少年自然の家
指定管理者　三八五グリーンネット



統括責任者　北　村　義　文

運営協議会

総　務　課

課長	出町佐知子
庶務	差波俊雄
庶務	前田寿人
技能（1級ボイラー技士）	鹿股武三
技能（2級ボイラー技士）	佐藤幾男
技能	根城傑
技能	村上聖弥
当直員	深川利満
当直員	磯嶋榮助

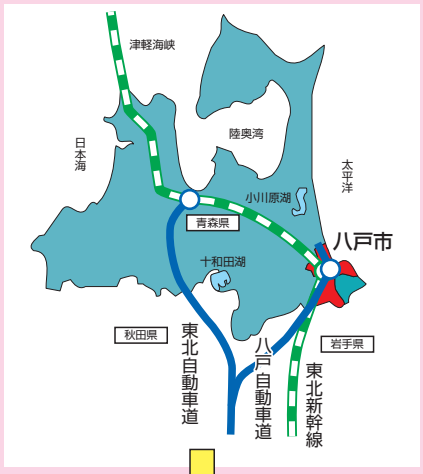
研　修　課

課長（社会教育主事有資格者）	尾崎官一
副課長（社会教育主事有資格者）	新田隆
指導員（社会教育主事有資格者）	梅田久江
指導員	馬場道子
指導員（社会教育主事有資格者）	乗上正樹
指導員（社会教育主事有資格者）	松坂昇
指導員	木村功
衛生看護員	沼畑順子

調　理　課

栄養士	久慈瑛玲奈
調理責任者	庭まり子
調理副責任者	柳沢れい子
調理員	林啓子
調理員	深川優子
調理員	桑原久美子
調理員	二部ゆかり
調理員	中島浩恵

施設までのアクセス







所要時間（主な交通機関）	
八戸駅～種差海岸駅（1日9往復・JR八戸線）	約35分
種差海岸駅～自然の家（徒歩）	約20分
八戸駅～自然の家（自動車）	約40分
八戸IC～自然の家（自動車）	約35分

主な社会見学施設（自然の家から）	
1 是川遺跡	12km
2 博 物 館	15km
3 櫛引八幡宮	19km
4 水産科学館（マリエント）	8km
5 八戸郵便局	12km
6 消 防 署	12km
7 児童科学館	10.5km
8 県立三沢航空科学館	36km

青森県立種差少年自然の家
指定管理者　三八五グリーンネット
〒031－0841　青森県八戸市鮫町字膳並平2の26
☎(0178)38－2131　FAX(0178)38－2727
E-mail　info@tanesashi.jp
〈ホームページ〉種差少年自然の家　検 索